
**
** ソフトウェア説明書 **
**
** Windows for Itanium版 **
** Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition **
** Systemwalker Centric Manager Standard Edition **
**
** 監査ログ分析機能 V13.2.0 **
**

本書は、製品の取扱い、ご使用に際して特に注意すべき事項、参考となる情報等を記したものです。

[高度な安全性が要求される用途への使用について]

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

-
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - Javaは、米国における米国Sun Microsystems社の商標です。

All Rights Reserved, Copyright(C) 富士通株式会社 2007

表記方法について

本書では製品名などについて、以下のように略して表記しています。

「Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition for Itanium-based Systems」を「Windows Server(R) 2003 Enterprise Edition for Itanium」と表記しています。

本書は、以下の構成で記述されています。

1. 機能概要
2. 適応マニュアル
3. 制限事項
4. 使用上の条件
5. 製品構成
6. インストール
7. アンインストール

1. 機能概要

本ソフトウェアはSystemwalker Centric Managerに対し、監査ログ管理機能によって収集された監査ログファイルを検索または集計する機能を追加します。

検索機能は検索サーバ、集計機能は集計用の問い合わせファイルとコマンドより構成されます。

2. 適応マニュアル

Systemwalker Centric Manager ソリューションガイド 監査ログ分析編(B1WS-0151-02Z2(00))

上記マニュアルは、Systemwalker技術情報ホームページにて、本書と同じページよりダウンロードしてください。

3. 制限事項

制限事項はありません。

4. 使用上の条件

本ソフトウェアを使用する場合には、以下のソフトウェア条件およびハードウェア環境を満たしている必要があります。

4.1 ソフトウェア条件

1) 前提基本ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下の基本ソフトウェアが必要です。

項番	インストール種別	基本ソフトウェア
1	運用管理サーバ	Windows Server (R) 2003 Enterprise Edition for Itanium (*1)

*1 : Service Pack 2を適用してください。

2) 必須ソフトウェア

Systemwalker Centric Manager V13.2.0以降が必要です。

3) 必須パッチ

Systemwalker Centric Manager 監査ログ管理機能の緊急修正が必要です。
(修正番号 : T000809IP-01)

4) 排他ソフトウェア

なし

5) 集計機能を使用する場合に必要なソフトウェア

以下の機能を使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

項番	機能	必須ソフトウェア
1	集計機能	Interstage Navigator Server Enterprise Edition V9.0以降 Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V8.2以降

4.2 ハードウェア環境

本ソフトウェアを使用する場合、以下のハードウェアが必要です。

適応機種 :

・ PRIMEQUESTシリーズ

4.3 ディスク容量

本ソフトウェアに必要なディスク容量を示します。

4.3.1 静的ディスク容量

監査ログ分析機能を新規にインストールするためには次のディスク容量が必要です。

項番	フォルダ	ディスク容量
1	Systemwalkerインストールディレクトリ(※1)	10.0(MB)

(※1) デフォルトは C:\¥WIN32APP です。

4.3.2 動的ディスク容量

監査ログ分析機能はインストールに必要な静的ディスク容量に加えて、以下の動的ディスク容量が必要です。

機能	フォルダ	用途	ディスク容量
正規化	正規化ログ格納先に指定したディレクトリ	正規化ディレクトリ	300(※1) × サーバ台数 × 保存日数 (MB) (例) サーバ50台、2日保存の場合 300 × 50 × 2 = 30GB
正規化	インストールディレクトリ	正規化ルールファイル保存領域	2 × 登録する正規化ルールファイルのサイズ合計
検索	インストールディレクトリ	検索条件保存領域	10 × 検索条件保存情報の件数 (KB)
		検索結果格納領域	2 × 検索結果件数 (KB)
集計	インストールディレクトリ	問い合わせファイル保存領域	10 × 問い合わせファイル数 (KB)
		Navigator辞書	20 (MB)

(※1) 1サーバ1日あたりの正規化ログの想定データ量です。

4.4 メモリ容量

監査ログ分析機能が動作するためには次のメモリ容量が必要です。

項番	インストール種別	必要メモリ容量
1	運用管理サーバ	30 (MB)

5. 製品構成

[Windows版]

win64_loganalyzer_20071001.exe

上記ファイル（自己解凍形式）を解凍すると以下のファイル・ディレクトリが作成されます。

```

¥win64_loganalyzerディレクトリ
|   Setup.exe      (インストール実行ファイル)
|   Setenv.bat
|   CSVDB.bat
|   NavjDicCopy.bat
|   ExDic.bat
|   rnd.env.sample
+ ¥mpataディレクトリ

```

6. インストール

2. の適応マニュアルの「監査ログ分析機能のインストール」に従って、インストールを実施してください。

7. アンインストール

2. の適応マニュアルの「監査ログ分析機能のアンインストール」に従って、アンインストールを実施してください。